

「エコ広場ずし」の存続に関する陳情

陳情の趣旨

2012年10月より、逗子市役所1階ホールにて始められた「エコ広場ずし」は、逗子市の廃棄物削減を目指して多くの市民に支えられ、活動を進めてきました。2015年4月には、現在の市民交流センター1階フロアに移り、毎日100人以上の逗子市民が衣類・生活雑貨等のリユースの場として利用しています。

この「エコ広場ずし」を今年4月退去させる方針が逗子市長から出されました。この方針に基づき協定書が締結（令和元年7月29日）され、「令和2年2月29日（土）までに原状回復する」となりました。また令和2年度以降の逗子市のゼロ・ウェイスト政策全体の推進に向けて、活動の継続に向けた協議、及び協議の結果を受けた実践活動を両者が対等な立場で実行する。なお、その具体的な内容は、第3条の表（5）実施場所の原状回復の期限までに別途定めるとされています（協定書第4条）。ついては以下の理由により「エコ広場ずし」の継続を求めることに関して陳情します。

陳情の理由

- 1 「エコ広場ずし」は、「ごみを出さない暮らし方」を進め、次世代へ逗子を住みよいまちにしていく啓発と実践の重要な活動拠点であり、市民交流センターの事業目的である市民交流支援及び生涯学習の目的に合致している。
- 2 「エコ広場ずし」は、逗子市との協働事業として、市民交流センター内で常時市民ボランティアが運営するリユース拠点を持つことは、他に例を見ないユニークな取り組みとして高い評価を得ている。
- 3 「エコ広場ずし」は、若い子育て世代からシニア世代まで老若男女を問わず、多くの逗子市民の生活向上に広く活用され、また交流の場としても大きく寄与している。
- 4 SDGs に対する施策が早急に求められており、「エコ広場ずし」はその啓発・実践の場の面からも先駆的な取り組みである。市民交流センターにおいて、「エコ広場ずし」を運営する逗子ゼロ・ウェイストの会は、関連諸団体や個人（ボランティア）とともに、真の世代間交流の場、生涯学習の場として機能している。
- 5 逗子ゼロ・ウェイストの会は、神奈川県基金21ボランティア活動奨励賞平成30年度受賞、かながわプラごみゼロ宣言賛同団体に登録されるなど、SDGs 関連事業の推進団体として、神奈川県からも注目されている。

令和元年11月25日

逗子市議会議長 様



逗子ゼロ・ウェイストの会
共同代表 田中 尚武
逗子市久木3丁目9番21号
他354名



添付資料

- ① 令和元年度協働事業「市民の知恵と行動を活用した資源加速事業」に関する協定書
- ② 意見集約書（エコ広場ずしの存続をともに考える市民集会）
- ③ ビデオレター（NPO 法人ゼロウェイスト・アカデミー理事 松岡夏子氏/
水 Do! ネットワーク代表 瀬口亮子氏/一市民）
- ④ 案内チラシ（発起人・賛同者記載）
- ⑤ 提言書（「エコ広場ずしに関する提言」長坂寿久氏）

